

であいこうか

地域で活躍されている元気な方を紹介するコーナーです。

光景画家
松本光彩さん(甲賀町相模)



「絵画は自然への入り口」

木のぬくもりと優しい色合いが魅力の「木彩画」。幼いころから絵に親しんできたという松本さんが、木彩画を始めたのは4年前。家具の廃材にオイルパステルで描く作風は、松本さんが独学で編み出したもので、キャンパスとは違って細部まで描くには、かなりの技術を必要とします。さらさらした木肌に指で色をのせるため、慣れないころは手を痛めたこともあったそ

うです。松本さんの活動場所はほとんどが地元。「何度も足を運べるのが地元ならではの、一つの場所に構えて、じっくり観察します」と自然豊かな甲賀は、作品作りにもってこいのようなようです。また、絵を描くうえで必要な気象や環境についても学んだという松本さん。ほこりにまみれていた廃材に絵を描くことで再び命を吹き込む、これも環境への取り組みなのです。最近、琵琶湖の風景も描いているという松本さんが気にかかっているのは、ごみのポイ捨てだそうです。「自分の作品は、報道写

真でなく報道絵画。今どういう状況にあるかを絵画で伝えることが使命」と話す松本さんの絵には水面にペットボトルが浮いたままの琵琶湖が描かれます。「絵画は『自然への入り口』。まず絵を見て、今度は自分の目で自然を見て何かを感じてほしい」と訴えます。各地の個展でファンも多い松本さんの作品は、11月3日(土)・4日(日)に開催される甲賀町文化祭でご覧になれます。松本さんの絵は、ふるさとの自然を大切にという環境メッセージとして私たちに届くことでしょう。

温かみのある松本さんの木彩画



※松本光彩さんのホームページ「思い遥かに」もご覧ください

186名が腕を競う

～第2回甲賀市チャリティーゴルフ大会～



▲寄贈されたバレーボール

土山町の双鈴ゴルフクラブで10月3日(水)、第2回となる甲賀市チャリティーゴルフ大会が行われました。

この大会はスポーツ振興のため、市ゴルフ協会が主催したもので、186名が参加しました。表彰式では、青少年の健全育成のためと、協会の種村会長からチャリティー募金30万円とバレーボール10個が贈られました。



▲道路のごみを拾い集める甲賀支部の皆さん

ごみを捨てにくい道路環境めざし

～県建設業協会甲賀支部さわやか道路デー～

県建設業協会甲賀支部の皆さんが10月11日(木)、「さわやか道路デー」を実施しました。この活動は、甲賀支部が企業の社会貢献活動の一環として会員に参加を募って計画したもので、130名を超える参加者の皆さんが、市内5か所に分かれ、道路周辺に散乱するペットボトルなどのごみを拾い集めました。甲賀支部の山中支部長は、「私たちの道路清掃活動を見た人々に、道路にごみを捨てないようにしよう、と少しでも思ってもらえれば」と話していました。

元気で明るくいきいきと

～甲賀町老人クラブ連合会交流スポーツ大会～



▲園児たちと楽しくダンス

▲皆さんとストレッチ体操をする中嶋市長

甲賀町の多目的グラウンドで10月12日(金)、甲賀町老人クラブ連合会第18回交流スポーツ大会が開催され、秋晴れのもと、800名の皆さんが心地よい汗を流しました。

開会式には中嶋市長も出席。「家族や地域こそってこのような大会をもてるところが甲賀のすばらしいところ」とあいさつした後、皆さんとともにストレッチ体操をしました。

甲賀地域の保育園や幼稚園の年長組園児と一緒に踊るプログラムでは、高齢者の皆さんと園児たちが手を取りながら楽しくダンス、世代を越えた交流のひと時を過ごしました。

元気なまちかど

- 1 即売会で品定めをする観光客
- 2 人気のあった市の特産品コーナー
- 4 信楽焼の新作展「信楽陶器総合展」



信楽陶器まつり盛大に市内の特産物販売のお店も

市内には、地場産業を基軸とした企業、また各地域に進出の企業、さらには市民の皆さんの生活に密着する多くの商店があり、元気な甲賀市を支えていただいています。

そうした企業や商店が集まり、普段は触れることが少ない甲賀市の一面を市民の皆さんに知っていただくとう、水口では商工まつり、また甲賀では産業フェアが10月21日(日)に開催されました。

当日両会場には、企業の製品展示や地元特産品の展示・販売、また模擬店などが開かれ、多くの皆さんが楽しみました。

また、子どもたちが参加するイベントも行われました。みなくち商工まつりでは、わんぱく相撲(表紙写真)などが、こうか産業フェアでは、丸太切り体験、紙飛行機作りと飛距離競争などが開催され、両会場には、笑顔と歓声が広がりました。



▲多くの皆さんが集まったこうか産業フェアの会場

▲子どもたちも丸太切りに挑戦